

6/21 土

北陸会場
(石川県)

演題：エンタメのマーケティングと消費者行動

講師：涌田 龍治（経営学部 教授）

「勝つか負けるか、手に汗握るギリギリの駆け引きこそがスポーツ観戦の醍醐味だ」
 「いくら評判の映画でもネタバレしていれば観る気がしない」「われわれのアンコールに予想外に応えてくれるライブ・コンサート」物やサービスなどの商品を買う（消費）と、それら売る企業が行う（マーケティング）。エンタメ分野特有の、「筋書きは保証されていない、でも感動したい」という複雑なファン心理を企業は掴むことができるのか。エンターテインメント業界の消費者行動とマーケティングについて語ります。



7/5 土

中国会場
(岡山県)

演題：ミツバチの秘密

講師：高橋 純一（生命科学部 准教授／生態系サービス研究センター センター長）

果物や野菜、美しい花々—その多くはミツバチの働きに支えられています。
 京都産業大学では、キャンパス内で養蜂を行っており、学生団体「みつばち同好会 BooN!!!」とともにミツバチと環境の関わりを探究しています。本講演では、身近でありながらあまり知られていないミツバチの生態と、私たちの暮らしとのつながりをやさしく解説します。当日はみつばち同好会 BooN!!! の学生らによるワークショップ“京都産業大学産のハチミツ食味会”も開催予定です。



7/6 日

四国会場
(香川県)

演題：渋沢栄一と中野武蔵

講師：松本 和明（経営学部 教授）

香川県出身の実業家・中野武英は、明治期に東京商業会議所の第2代会頭を務めるなど、渋沢栄一と連携しながら日本の経済基盤の整備に尽力しました。本講演では、渋沢の活動を軸に据えつつ、その思想やネットワークがいかに地域の経済人へと波及していったのかを、中野との関係を通して考察します。近代日本の産業と地域経済のつながりを読み解く視点をお届けします。



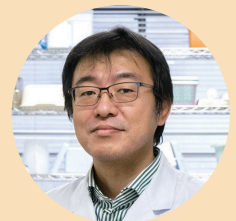
7/13 日

中国会場
(広島県)

演題：鳥インフルエンザの猛威—最新知見から読み解く感染症—

講師：高桑 弘樹（生命科学部 教授／感染症分子研究センター 所員）

1996年、中国・広東省で確認されたH5亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスは、世界中に拡大し、家禽産業に深刻な被害をもたらしてきました。日本でも2020年以降、5年連続で発生が続き、多くの鶏が殺処分されています。広島県でも令和6年3月、北広島町で高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）が確認され、地域の養鶏や食の安全に関わる課題となっています。本講演では、感染メカニズムや流行抑制策、国内の現状と今後の課題について、最新知見を交えて紹介します。



※10月以降の開催日程等につきましては、改めてご案内いたします。

申込方法

>>>>>

事前のお申し込みが必要です。QRコードよりお申し込みください。
 申込者数が定員を超過した場合、抽選とさせていただきますので、ご了承ください。
 参加の可否は開催1週間前までに申込者全員にメールにて通知いたします。



申込締切：会場により参加申込期限が異なります。

- 北陸会場（石川県） 6/8（日） ●中国会場（岡山県） 6/22（日）
- 四国会場（香川県） 6/22（日） ●中国会場（広島県） 6/29（日）

【注意事項】

- ・当イベントの詳細はメールにてご案内しますので、入力内容に誤りのないようご注意ください。
- ・当日は公共の交通機関でお越しください。

